

活動のご報告

令和3年8月中旬～9月上旬のセンター活動内容について報告をいたします。当センターにおいても、コロナウィルス感染症の蔓延に伴い、8月中旬より、全職員の7割が在宅勤務等となっており、職員への連絡がつきづらい状況となっております。当センターにご用がある方は、下記のメールアドレスにて連絡をお願いします。

7月から引き続き「長期育成循環施業試験」に係る収穫調査を継続して実施しております。

その他、上記の調査事業に併せて「高齢級人工林の施業体系の確立」及び「溪畔林再生のための施業技術の確立」等課題のデータ処理を行いました。

ks_kasama_postmaster@maff.go.jp

関東森林管理局 森林技術・支援センター

関東森林管理局次長 複層林視察

令和3年8月5日、関東森林管理局次長が来所し訓示及び当センターにおける業務の視察が行われました。

業務視察にあたっては、筑波山中腹に所在する長期育成循環施業試験地において、今後の調査予定及び問題点について説明を行いました。



3 Dwalkerによる調査開始 !!

関東森林管理局に高性能なLiDAR測定装置である3 Dwalkerが導入されたことに伴い、「長期育成循環施業試験」で活用するため、9月中旬～下旬の間、借り受けることとしました。

この装置により、当該試験地を歩行するだけで立木の胸高直径、樹高及び立木位置が調査することができます。

左の写真及び図は、測定実施風景及び解析ソフトによる解析結果の一部となります。

(*) LiDARとは、光を用いたリモートセンシング技術の一つ。同様の技術を用いた森林資源調査装置としてOWLがあります。OWLについては、近畿中国森林管理局管内において、現地検討会が開催されております。

